

名古屋市立西特別支援学校
保健指導部 7月号
令和6年7月1日発行

夏休みも間近となりました。いよいよ本格的な夏の到来です。まだ暑さに体が慣れていないうちは、とくに熱中症の危険が高くなります。こまめな水分補給や適度な休息、動きやすい服装などを心掛けることも大切です。熱中症を予防し、健康に夏休みをむかえましょう。



こんげつ ほけんぎょうじ 今月の保健行事

＜体重測定＞

1日(月) 高等部2年
3日(水) 小学部3～6年
5日(金) 高等部3年

ほけんもくひょう 保健目標: 暑さに負けない生活をしましょう!

2日(火) 中学部1～3年・ひまわり
4日(木) 高等部1年
10日(水) 小学部1・2年・たんぽぽ

直射日光をさける



熱中症

に注意!

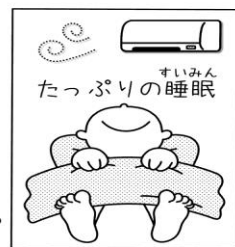
こまめに水分・塩分を補給する



激しい運動は暑さに慣れてから



無理をしないで休む



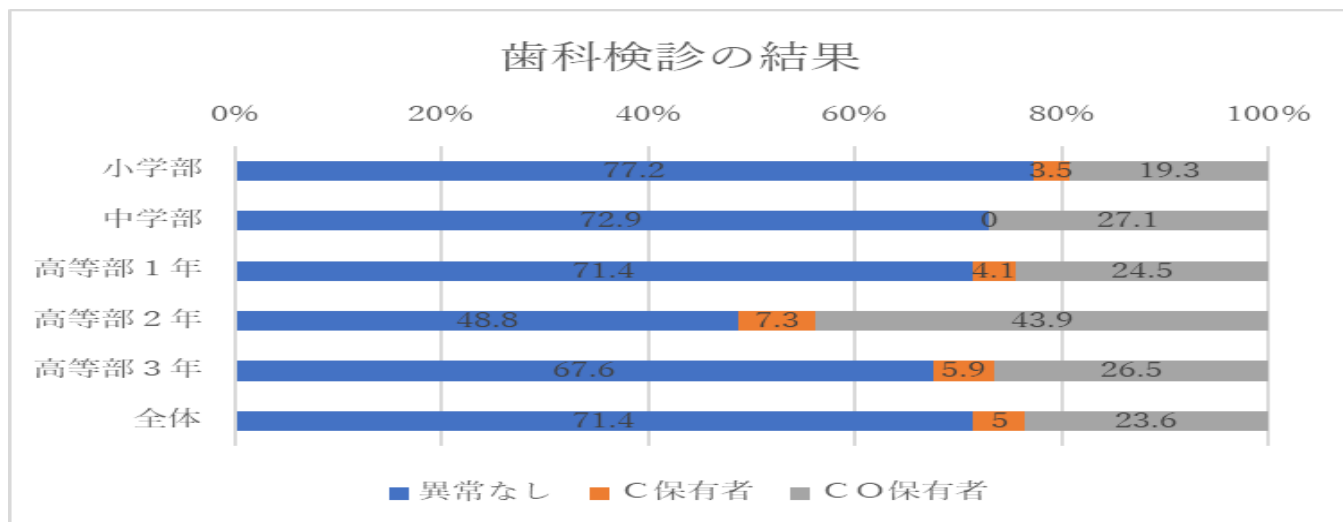
おうちの方へ



体温調節が苦手なお子さんは、『ネッククーラー』や『アイスバック』をご家庭からお持ちいただき、学校で使用することができます。また、他に熱中症対策として必要な物があれば、連絡帳等で担任や養護教諭までご相談ください。

西特別支援学校歯科検診の結果

4月から6月にかけて、児童生徒の定期健康診断を行いました。今回は、歯科検診の結果について西特別支援学校全体の結果をお知らせします。



Cは未処置歯、COは要観察歯のことです。全体で「異常なし」の児童生徒は71.4%、C（未処置歯）保有者は5%、CO（要観察歯）保有者は、23.6%でした。学部ごとに見ると、学部が上がるにつれて「異常なし」の人が減っていることが分かります。自分で歯みがきができるようになり、仕上げみがきがないため、歯垢が残ってしまい、むし歯やむし歯になりかけている歯ができてしまうことが考えられます。みがき残しやすい場所については以下の図の通りです。

一方で、名古屋市全校の平均は小学校で11.5%、中学校で6.4%、高等学校で7.9%の人が未処置歯を保有しており、本校はすべての学部が名古屋市の平均よりも下回っているため、歯みがきの習慣が定着していることが考えられ、嬉しく思います。

引き続き、給食後の歯みがき指導や集団指導等、みがき残しがなく丁寧に歯みがきができるように活動していきたいと思います。ご家庭でも、歯みがきのお声かけ等よろしくお願いします。

また、先日配布させていただいた「歯科検診結果のお知らせ」で受診のおすすめがあった方については、お時間があるときに受診をしていただきますよう、ご協力の程よろしくお願いします。

みがき残しやすい場所とみがき方のポイント

